



世界に希望を生み出そう

## 第2730地区 鹿児島サザンウインドロータリークラブ

事務局・例会場	ホテルレクストン鹿児島	2023-2024年度
〒892-0844	鹿児島市山之口町4-16 4A	会 長
TEL 090-5295-2736		会長エレクト
FAX 099-210-7887		幹 事
例会日	1ヶ月3回 木曜日 12:30~13:30	編 集
Eメール	kswrc@po5.synapse.ne.jp	HP
		https://ksw-rc.org

国際ロータリー会長 ゴードンR・マッキナリー  
第2730地区ガバナー 池ノ上 克  
鹿児島市内ガバナー補佐 Aグループ 瀬川 英憲  
Bグループ 有川 達也

### 第1171回例会 2023年(令和5年)7月13日(木) 本日のプログラム「会長・幹事就任挨拶 理事・役員紹介」 VOL.28-1

前回第1170回例会(6/22(木))の報告 於: ホテルレクストン

#### 【ニコニコBOX】

◆水流純大君・森迫直子君

皆様、1年間ありがとうございました。皆様のおかげで何とか会長・幹事の務めを終える事ができました。本当にありがとうございました。ゲストの中谷様、本日はようこそいらっしゃいました。入会をお待ちしています。

◆川原篤雄君

水流会長・森迫幹事・岩下会場監督丸の入港おめでとうございます。又、乗組員の皆さん、お疲れ様でした。

◆日高恒彦君

今年度役員の皆様、ご苦労様でした。

◆小川ちえみ君

水流会長・森迫幹事、1年間お疲れ様でした。次年度もご指導の程、宜しく願い申し上げます。

◆堀嘉郎君

油絵展オープニングパーティーに多くのご参加頂き、ありがとうございました。だいたい小平太さんのバナナの叩き売りで盛り上がりました。個展を25日(日)までやっておりますのでお時間のある方はご来場下さい。

◆大園恵梨君

1年間、ありがとうございました。また、よろしくお祈りします。

◆藤崎克己君・夏迫文男君・庄司教克君・国師博久君・中村聡君

水流会長・森迫幹事・岩下SAA、1年間ご苦労様でした。

◆百崎隆子君・池田耕夫君・佐藤俊一君・西孝一君  
水流会長・森迫幹事・岩下SAA、1年間ご苦労様でした。

《ニコニコBOX累計額 ￥250,000-》

#### 【幹事ゲスト】

明治安田生命保険(相)  
営業部長  
中谷光男様



【プログラム】 会長・幹事 任期を終えて  
「会長挨拶」

水流 純大

皆さんこんばんは。本日が今年度最後の例会となりました。

1年前に会長就任のあいさつをしたときは、入会6年目の駆け出しロータリアンである私が会長という大役を担っていいのか、たいへん不安でしたが、会員の皆様のご協力のおかげで何とか1年を過ごすことができ、本日退任の挨拶ができますことに安堵するとともに心から感謝申し上げます。

今年度のジェニファー・ジョーンズRI会長は、「IMAGINE ROTARY」(イマジン・ロータリー)をRIテーマに掲げ、「ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出します。想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」と述べました。



また、会長年度に最も力を入れたいこととして、「DEI」すなわち「Diversity(多様性)」「Equity(公正性)」「Inclusion(包摂)」を挙げ、ロータリーは多様性を尊重し、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、性別志向、性同一性などにかかわらず、さまざまなバックグラウンドの人々への貢献を称えたと述べています。当クラブでもDEIを意識した取り組みとして、主に障害者に関連する会長アドレスを合計8回、障害者本人を招いた外部卓話、鹿児島県知的障害者福祉協会主催のWAQ×WAQ Squareへの支援などを行ってきました。

第2730地区の山ノ内文治(ふみはる)ガバナーは、地区スローガンを「知力を高め 未来に繋げ 多様性あるロータリークラブの実現に」とし、多様性を認める社会の実現に向けて未来のロータリアンに夢を繋ぐという思いをこめられました。

RIテーマ、地区スローガンを受けて、今年度のクラブスローガンを「笑顔輝く明日を創ろう」としました。人は自分の人生に満足していたり、自分の生活が充実していると自然に「笑顔」になります。また、人生に夢や希望を持てる時「笑顔が輝き」ます。しかしながら、皆が「笑顔輝く」人生を送れているわけではありません。世界に目を向けると、戦争や飢餓、病気、貧困、水不足などで苦しんでいる人々が数多くいます。日本国内でも、病気や障害、貧困、差別などで苦しんでいる人々も少なくありません。残念ながら、ロシアによるウクライナ侵略戦争はいまだに終わっていないという悲しい現実もあります。

ロータリーは「奉仕の理念」を具体的に実践することにより、社会の中で困難に直面している人々や多様な属性を持つ人々の「笑顔」を増やすことに尽力しています。私たち鹿児島サザンウインドロータリークラブも奉仕活動を通じて人々の「笑顔輝く明日(未来)を創る」ことに貢献し、またそのことにより会員の笑顔も輝くことを目指して、今年度のスローガンを「笑顔輝く明日を創ろう」といたしました。

このクラブスローガンのもと、クラブ運営の基本方針として、吉時年度との連続性も考慮しながら5つの重点項目を掲げました。

第1の柱は「集(つど)う」です。この3年半の間、コロナ禍により例会の中止やオンライン例会の開催などを余儀なくされてきましたが、今年度の例会は原則として集合開催とオンライン配信のハイブリッド開催とし、コロナ感染防止のためやむを得ない場合に限りオンライン開催のみとするの方針のもと、第7波の感染拡大がピークを迎えた7月21日と28日の例会はやむを得ずオンラインのみの例会としましたが、それ以外の例会はすべて集合開催としました。また、新型コロナウイルスの感染症法上の取扱いが5類に移行した今年5月にはアクリル板の撤去、6月には対面形式の座席配置もでき、コロナ禍前のように会員同士がしっかりと顔を合わせて話し、情報交換と親睦を深める機会をつくることができました。

第2の柱は「睦(むつ)ぶ」です。こちらもこの3年半の間、コロナ禍により十分な活動を行うことができなかつ

た親睦行事ですが、クラブ運営委員会の皆様のご尽力により、10月に八重山登山とバーベキュー大会、11月にみかん狩りと乗馬体験、12月に家族会、そして6月に親睦旅行など、楽しい親睦行事をたくさん企画運営していただきました。特に、今年の親睦旅行は日帰りではありませんでしたが、農福連携で全国的にも有名な花の木ファームへの研修旅行も兼ねて実施し、今年度のRIの重点課題であるDEIに関連したとてもタイムリーな企画だったと思います。

第3の柱は「学ぶ」です。ロータリーを学ぶことは私自身の大きな課題でもあり、会員増強研修委員会の皆様のご尽力により、ロータリー大学において川原PGによるクラブの拡大についての基本的な考え方と新クラブ設立についてのお話や、ロータリアンとして豊富な経験をお持ちの鹿児島西RCの古木圭介様の卓話、また、創立記念例会では当クラブ設立時のガバナーであられた海江田PGの卓話などを通してロータリーを学ぶ機会を提供していただきました。また、今年度は週報にロータリークイズを掲載し、ロータリーに関する豆知識を増やすというユニークな取り組みも行われ、11月に行われた地区創立70周年記念地区大会には29名の会員が参加し、学びを深めました。

第4の柱は「奉仕する」です。ロータリーの最も重要な基本理念である「Ideal of Service」(奉仕の理念)を具体的な行動に移すことがロータリアンには求められます。奉仕プロジェクト委員会の皆様のご尽力により、11月に鹿児島県知的障害者福祉協会が主催するWAQ×WAQ Squareを特別協賛団体として支援し、併せて、クラブ独自の事業としてrecycle donation「CLEDONA(くるっどな)」とumaka donation「UMAKADONA(うまかどな)」を実施し、集まった衣類や文房具、調味料等を「児童養護施設愛の聖母園」や「NPO法人かごしまこども食堂支援センターたくして」に寄贈することができました。

また、川原健司会員の行動力によりつながったバギオ基金の浅田会長とのご縁により、NPO法人響のリユースランドセルをフィリピン・バギオに送るという国際的な奉仕活動も実現する運びとなりました。また、鹿児島純心IACの活動支援等の青少年奉仕や職業奉仕にも取り組んでいただき、職場訪問では南部清掃工場を見学し、ロータリーの重要テーマの一つである「環境」問題を考えるきっかけとなりました。国際奉仕に関しては、この3年間交流が途絶えていた台北・草山RCとの姉妹クラブ盟約の更新が7月に行われます。私は業界団体の大会と重なってしまい訪問することができませんが、吉時直前会長をはじめとする訪問される皆様どうぞよろしくお願いいたします。

ロータリー財団委員会の皆様には、ロータリー財団及び米山記念奨学会への寄付の要請を行っていただき、また、松田泉会員には米山記念奨学生の王 家怡(ウォン・カーイー)さんのカウンセラーを務めていただきました。

第5の柱は「発信する」です。公共イメージ委員会の皆様には、例会でのロータリーの友とガバナー月信の紹介、週報の作成、クラブの奉仕活動のガバナー月信等へ



の投稿などを行っていただきました。また、ロータリーの公共イメージの向上を図るマスメディアの活用にも取り組んでいただき、先ほど述べた「NPO法人かごしまこども食堂支援センターたくして」への寄贈を南日本新聞に掲載していただいたほか、後ほど述べるロータリー奉仕デー「海岸美化プロジェクト」をMBCのニュースとKTSの情報番組で取り上げていただき、ロータリーの公共イメージの向上につながりました。

当クラブは今年度IM（Intercity Meeting）の担当クラブとなっており、ロータリー奉仕デーとIMを一本化して実施するという地区方針のもと、まずプロジェクト1として、12月17日に「海洋プラスチックごみ問題を考える」をテーマとする2730地区と2800地区のコラボレーションコロキウムを鹿児島大学稲盛会館で開催しました。

このプロジェクト1については、当クラブは裏方の役割で、会場設営や受付、駐車場係などを会員の皆様に担っていただき、成功裏に終えることができました。

また、プロジェクト2として、4月22日に吹上浜赤フン海岸におきまして、鹿児島市内A・Bグループ12クラブ合同の海岸美化活動を行いました。このプロジェクト2については、当クラブが主管クラブとして、清掃場所の選定から企画会議の実施、備品等の準備や当日の運営まで、多くの役割を担うこととなりましたが、奉仕プロジェクト委員会を中心とする会員の皆様のご協力のおかげで滞りなく実施することができました。当日は好天にも恵まれ、ロータリー会員90名、会員家族39名、一般参加者は鹿児島純心IACの22名を含む47名の計176名の参加があり、約1時間の海岸清掃活動に汗を流しました。回収したプラスチックごみ等の個数は3,506個、重量は約50kgでした。参加者に記入していただいたごみデータ調査票は一般社団法人JEANに送付し、海洋ごみ問題の調査データとして活用されることとなっています。参加者の皆さんにはこの活動を通して環境問題を我が事として考えるきっかけになったのではないかと思います。また、先ほども述べましたが、この活動はMBCとKTSでそれぞれ放送され、ロータリーの公共イメージの向上に多少なりとも貢献したと思います。

また、今年度はクラブ戦略委員会において、今後のクラブの柱となる社会奉仕活動について検討を行いました。クラブの柱となる社会奉仕活動については、以前実施していた「車いすバスケットボール大会」が地区補助金の関係で実施できなくなってから、柱を失った状態になっていますが、「魅力あるクラブづくり」のためには、柱となる社会奉仕活動を確立することは必須であります。そのためには「何をやるか」を単年度ごとに考えるのではなく、直前会長・幹事、当年度会長・幹事、次年度会長・幹事・会長ノミニーの7名で構成されるクラブ戦略委員会で計画的、継続的に検討し、その方針を当該年度の奉仕プロジェクト委員会や財団委員会と共有しながら地区補助金を有効に活用し、クラブの柱となる社会奉仕活動を確立していく必要がある、という意見で一致しました。そのうえで、今後のクラブの柱となる社会奉仕活動の基本方針を『次代を担う子どもたちの健やかな育ち

を支援する』とし、この基本方針について、3月16日のロータリー大学で私から説明し、会員の皆様からおおむね了承をいただきました。今後は、この基本方針に基づいて、次年度の小川年度や次年度の森迫年度において具体的な奉仕活動について検討、実施していただき、クラブの柱となる社会奉仕活動を確立していただきたいと思っております。会員拡大・増強につきましては、当クラブをスポンサークラブとする2つ目の新クラブの今年度中の設立は実現しませんでした。クラブ設立に必要な会員数まであと一息のところまで来ているとのことですので、次年度の設立に向けて会員の皆様のご協力をお願いいたします。会員増強につきましては、コロナ禍前の2019年7月の会員数55名から今年度当初の2022年7月の会員数は43名で、この3年間で12名減少しましたが、今年度は新入会員4名、退会者3名で4年ぶりに純増1名を達成することができました。会員増強研修委員会の皆様のご尽力に感謝するとともに、今後クラブの活動が活発化することにより魅力あるクラブとなり、さらに会員増強を図られることを期待したいと思います。

1年前の会長就任あいさつで、『駆け出しロータリアンである私は「何かを変えてやろう」などという大それたことは考えておりません。逆に、ロータリーの活動や行動の意味を一つ一つ確かめながら着実に行っていきいたいと思っています。そのことがロータリーの学びと実践につながるのではないかと思います。』と述べました。終わってみればあつという間の1年間で、大きな実績を残すことはできませんでしたが、ロータリーの活動や行動の意味を一つ一つ確かめながら経験することによりたくさんの学びのある1年間であり、1年前よりはわずかながらロータリーのことを分かったように思います。このような貴重な経験をさせていただいたことに感謝申し上げます。今後一ロータリアンとして活動してまいりたいと思っております。

最後になりますが、この1年間私を支えてくださった森迫幹事と岩下SAAに感謝を申し上げます。森迫幹事には、本当にきめ細やかな心配りと気配りで私の経験不足を補い、支えていただきました。決して出さざることもなく、かといって不足することもなく、本当に過不足なく幹事としての役割を全うしていただいたことに心から感謝申し上げます。また、岩下SAAは毎回の例会をてきばきと仕切っていただき、1年間一度も例会を休会することなくたいへんスムーズな例会運営を行っていただきましたことに心から感謝申し上げます。

経験不足の私が、何とか1年間会長の役割を果たすことができましたのも、森迫幹事、岩下SAAをはじめとする理事・役員の皆様、各委員会委員長の皆様をはじめとする全ての会員の皆様、事務局の上松さんのご協力のおかげです。あらためて心から感謝申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

皆様本当にありがとうございました。



## 「幹事挨拶」

昨年の7月から水流会長のもと、鹿児島サザンウインドロータリークラブの幹事という立場でクラブの運営に関わらせていただきました。

皆さんには本当にお世話になりました。今年度終了まで残すところあと1週間ですが、おかげさまで無事に幹事としての任期を終えられそうです。

思いで起こせば、水流会長が会長となるためにPETTを受けて帰ってきてから仕事が始まりました。

私はロータリーの在籍は2桁ですが、ロータリークラブの運営については全くわかりませんでした。水流会長もまだ在籍が浅かったので、よくその年度の始まりを船出にたとえられますが、わからない2人が海原でかじ取りを任されたようなものです。

まだ初めの頃、ロータリーのいろいろな催しがあると会長幹事として出席するわけですが、新米の私たちは、ロータリーの要職の方々や関係者へ自己紹介のために食事もそこそこに名刺を持って挨拶回りをしたのを懐かしく思い出します。

幹事の仕事は、クラブ運営の全体を把握し会長を補佐することです。具体的には、理事会の議案作成、理事会進行、会員への情報発信、他のクラブの情報交換など多岐にわたります。クラブ運営について理事会では、いまどのような活動が検討され、どのようにクラブとして動いているのか、毎月発信する理事会だよりや、例会でフォーラムすることで会員の皆さんにも情報を共有できるよう情報発信に努めました。

今年はコロナによる規制もだいぶ緩和され、いろいろな会合がオンラインではなくリアルに催されたため、会長幹事会などで、他クラブの方と接する機会が多々ありました。

他のクラブの情報を聞くというのは大変刺激になりました。そのクラブクラブでしっかり仕組みができていると勉強になる話も聞けました。

クラブの運営は会費収入しかありませんから、その中でいかに有意義な社会奉仕活動をしていくか、クラブによっては様々な部分を節約し、活用できるものは活用し運営している話も興味深く聞きました。

うちのクラブの財政に余裕はありません。これからいろいろ工夫しながら、また地区補助金を活用できるよう毎年度社会奉仕事業は検討していくことが求められます。

今年度、クラブ戦略委員会でクラブの社会奉仕活動の基本方針を「次代を担う子どもたちの健やかな育ちを支援する」といたしました。

その基本方針を目標として毎年、何らかの形で子どもたちを支援する事業を継続できたら、なんとすばらしいことだろうと夢はふくらみます。

今年度は、クラブの事業だけでなく、地区の事業であるロータリー奉仕デーの主管という役割がまわってきました。地区の事業となるとクラブ内の事業とちがい規模も大きくなりますし他のクラブの方と連携して進めてい

## 森迫 直子



かなければなりません。

実は、このロータリー奉仕デーも当初は「IM」つまり鹿児島市内A・Bグループのインターシティーミーティングが担当で企画運営をするようガバナー補佐から言われておりました。

次の年は自分たちが鹿児島市内A・Bグループのインターシティーミーティングをしなければならないと思っていましたので、昨年5月に鹿児島大学の稲盛会館で開催されたインターシティーミーティングを聞きに行ったところ、テーマは「環境を考える」基調講演は元ニュースキャスターの宮崎みどりさん、パネリストは塩田知事や古木圭介さん、奄美の食文化プロジェクト理事長というそうそうたるメンバーによるものでした。

水流会長と私は「え、何する?」、私たちにそんなレベルのインターシティーミーティングできる?と本当に悩みました。

私は、おろおろしてるだけでしたが、水流会長は、いろいろ考えて今年度のロータリーのテーマに沿って「DEI」をテーマにした立派な企画書のたたき台も作成し検討しておりました。

結果として、地区の方針がインターシティーミーティングではなくロータリー奉仕デーとして海岸・河川清掃を実施ということになりましたので、その企画は白紙となりましたが、水流会長はきっとあの時期大変な思いや時間を使って企画を検討したのだらうと思って、皆さんにお伝えしました。

海岸清掃に切り替わって、ほっとしたのもつかの間でした。

鹿児島大学アカデミーが昨年の海岸清掃のプラスチックごみのデータ化などに関わっていたので、今年度もそちらと相談しながら海岸清掃をすることになりました。

時期は、鹿児島ロータリークラブの70周年事業と鹿児島西ロータリークラブの50周年事業が終わった後が良いということで4月22日決定しましたが、清掃場所の選定に大変てこずりました。

1月末に清掃場所の候補地であった吹上浜赤フン海岸に下見に行ってみたところ、ものすごいきれいな砂浜がひろがり、昨年5月に海岸清掃で見たゴミがありません！流木すらあまりありませんでした。びっくりして水流会長に海岸の写真を送りこれでは清掃するゴミがないよ！と連絡しました。

そこから水流会長と私のごみ探しがはじまりました。鹿児島大学の海に詳しい教授に聞いて、桜島の海岸や、加世田の海浜公園の海にゴミがあるかもと聞き下見に行きました。桜島の海は確かに流木はたくさん流れてきていたのですがプラスチックゴミは皆無でした。加世田の海浜公園の海はゴミはありましたが駐車場から遠すぎて子供や高齢者にはきついのはと却下しました。それから、鹿児島市の河川港湾課にも相談に行き、鹿児島県の海岸や河川ゴミを担当する部署にも相談しました。あそこの河川が良いかもと聞けば、わらにもすがる思いでどうぞゴミがありますようにと祈りながら下見にいきました。



しかしゴミ探しをして、鹿児島県の海が意外ときれいだという発見もしました。スポーツ関係者や建設業の団体とか地域などのいろいろな団体が定期的に海岸や河川の清掃をしているのです。

私など、ロータリーで地球のために環境美化活動と言うのが恥ずかしい気がしました。

なにはともあれ、4月22日誰もケガすることなく無事にロータリー奉仕デーを終えられほっとしました。作業が終わり、参加した方々が心地よい汗を流し、笑顔で帰っていく様子は嬉しいものがありました。こういう事業は、一人ではできない、仲間がいてやれることということも実感しました。入会して間もない宮原さんが、駐車場と砂浜をあっち行きこっち走って手伝ってくれたのもありがたいことでした。

年をとると、気持ちはあっても、体が動かないのです。口は動くのですが、、、

思い出を語れば、まだまだありますがこの辺にいたします。

私の仕事は司法書士という仕事柄、組織の中で仕事をするというものではないため、何時もハウレンソウを心掛け、水流会長の支持を仰ぎながら仕事をするというのは新鮮な感覚でした。いつも仕事で多人数の組織を統括する立場の水流会長は、適格な判断をするなあと何度か感心しました。

でもそんな水流会長ですが、はじめのころは、会長アドレスの前に、「仕事ではもっと大勢の前で話をするけど、こんなに緊張することはない・・・」と言っていました。

会長、ばらしてすみません。

この年度で、幹事としては終わりですが、次年度は会長エレクトとクラブ運営委員会の委員長を仰せつかっております。

一昨年前から、ロータリーを勉強させていただいておりますが、昔、夏休みの宿題をやらず遊び惚けて、最後につけが回って居残り勉強したような感覚に似ているような似ていないような・・・感じです。

次年度は、小川会長の年度です。小川会長のクラブへ対する思いを実現できるよう、またまたクラブが楽しいと思える場になるよう実践していきたいと思っておりますので、引き続き会員の皆様のご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。



### ～夜間例会の様子～

ロータリークイズの回答してくれた方に豪華景品！授与式です。(\*^-^\*)  
一年間、クイズに参加してくださり、ありがとうございました。  
プレゼンターは公共イメージ委員会の皆さんです。  
(藤崎委員長・松林副委員長・松田圭次郎委員)



### 《日帰り 親睦旅行》

2023年6月10日(土)、南大隅町の「白鳩会 花ノ木ファーム」へ行ってきました。あいにくの雨になりましたが、広い敷地のお茶畑、養豚場などを説明を受けました。お昼の食事とても美味しかったです。



### 次回(第1172回)例会のお知らせ

日時：2023年7月20日(木) 12:30~13:30  
場所：ホテルレクストン鹿児島 2F  
プログラム：クラブ協議会  
(年間活動計画・決算・予算報告)

＜この後の7月のプログラム＞  
・7/27(木) クラブ協議会

### 出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第1172回6月22日(木)	43(43)	31	72.09

### 市内他RC例会プログラム

★は、記帳受付有り (ホームクラブ例会場)  
鹿児島RC ☆7/14(金) 【定例夜間例会】  
各常任委員会別協議会/前年度会長・幹事慰労会  
会場：城山ホテル鹿児島 (山形屋)  
中央RC 7/17(月) 祝日の為休会 (山形屋)  
東南RC 7/18(火) 委員会活動計画 (サンロイヤル)  
城西RC ★7/18(火) クラブフォーラム(新年度激励会)  
夜間例会に変更 場所：ペロージ (レクストン)  
南RC 7/19(水) 祝日休会 (サンロイヤル)  
西RC 7/19(水) クラブ協議会(活動方針 後半) (山形屋)  
西南RC 7/19(水) クラブ協議会(各委員会報告) (ビエント)  
東RC 7/20(木) 瀬川ガバナー補佐訪問 (サンデイズイン)  
北RC 7/20(木) 休会 (アートホテル鹿児島)